

中山大學

二〇一〇年攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码: 625

科目名称: 基础日语

考试时间: 2010年1月10日 上午

考生须知

全部答案一律写在答题纸上，
答在试题纸上的不得分！请用蓝、
黑色墨水笔或圆珠笔作答。答题要
写清题号，不必抄题。

一、下線部の漢字に振り仮名をつけなさい。(計10点)

- (1) ここでは水の芸術として明らかに人々の気持ちを寛がせていた。
- (2) 彼は東京時代を思い返して郷愁を感じた。
- (3) あの二人は相性がよくないようだ。
- (4) いもりの反らした尾が自然に静かに下りてきた。
- (5) この季節はよく木枯しが吹きすさぶ。
- (6) 余暇の問題は、漸次重要な問題になってゆく。
- (7) その子の母と思しい人物が姿を消した。
- (8) 古今東西を問わず人間のいるところ仮面というものは必ず存在している。
- (9) そうした融通むげさが、日本人のたくましい応用力を培ってきたのだ。
- (10) 大卒は人生の節目と言えよう。

二、次の語句の片仮名を漢字に改めなさい。(計10点)

- (1) シクまれた畏かもしれないと思いつつも、彼はその誘いに乗らないわけにはいかなかった。
- (2) その利益はほとんど損失をツグナうに至らなかった。
- (3) これは彼にとってもけっこうセツない夏なのかもしれないと私は思った。
- (4) 彼は毎年、春になると、サクラゼンセンを追って全国を走り回る。
- (5) この舞踊は美のキョクチをきわめる。
- (6) 船会社だから、全員が船に乗れるものとカンチガいしていたわけだ。
- (7) 京都にはシニセの呉服屋が多い。
- (8) 自然が生命活動を閉じる晩秋に山里はセイジャクを迎える。
- (9) インド洋の東海岸にツナミが襲来した。
- (10) 猫の育児は細心の情愛と無限のニンタイそのものである。

三、次の文の下線をつけた言葉の意味について日本語で説明しなさい。(計20点)

- (1) 彼は絵を見る目が肥えている。
- (2) 散歩がてら本屋に立ち寄る。
- (3) 彼の演歌は低音がかったところに格別の魅力があるように思う。
- (4) 名のある庭園に行けば、噴水は様々な趣向を凝らして風景の中心になっている。
- (5) 西洋料理ではお肉の焼き加減がとても大切だ。
- (6) 私はよく彼の心を見抜いていたつもりだったが、騙されてしまったとは。

考试完毕，试题和草稿纸随答题纸一起交回。

第1页 共4页

- (7)彼はさかんに相づちを打ちながら彼女の話聞いていた。
(8)課長はいつも取りとめのない事を言っている。
(9)李さんは不用意な言葉で一生を棒に振った。
(10)自分の年俸を考えると、住宅ローンの返済に気が遠くなる。

四、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(計 30 点)

ぼくの子どものころの(A) 夢は、探検家になることだった。アフリカのジャングルの奥にあるといわれる象の墓場、誰にも知られずに巨象たちが集まるという秘密の沼、サイとカバが決闘するという湖のほどり、数千・数万のフラミンゴが、空を紅に染めて飛ぶという朝、ぼくはくりかえし、(B) 夢に見た。

数年前やっとその夢がほんものになって、ぼくは、撮影隊といっしょに、東アフリカの奥地へ入って行った。フラミンゴは、ほんとうに青空をピンクに染めて飛んだし、巨象は、隊を組んで山を降りて、湖に集まって来た。

ぼくは、興奮しながら、はるか地平まで続く草原を、シマウマの大群が移動して行くのを見た。ライオンが狩りをはじめるとき、満月が、雪をいまくキリマンジャロの峰の真後ろからのぼるのを見た。そんな大自然の中で、ぼくは何人かのアフリカの少年たち少女たちに出会った。

ある少年は、まっぴだかの上に、ゴロレと呼ぶ一枚の布を巻きつけただけの姿で、弓矢をもって、ヒヒの群れの住む森を歩いていた。ある少女は、ヒョウの鳴き声の聞こえる小学校で、ブルーのスカーフを風になびかせながら、フットボールに興じていた。

そして、(ア) かつて、アフリカの探検記が(イ) 日本のひとりの子どもの心をかきたてたように、東洋のみしらぬ国からやってきたぼくたちが、今度はアフリカの子ども心に、見知らぬ(ウ) 異郷への興味をひきおこしているのを知った。

北ノルウェーで、北極から吹いてくる風の中を走り回っていた子どもたち。ギリシアで、大神殿の遺跡の間をロバを引いていた子どもたち。

こっちから見れば、とても遠い国に見える。行ってみると、(エ) その国の子どもは、はるかな異郷として日本に思いを寄せているのだ。

地球は丸い。二人の人間が歩きはじめれば、かならずどこかで会えるのだろうか。昔、よくそんなことを考えた。(オ) まだ地球は、ほんとうに丸くはない。国境があり、いろいろな差別がある。

(カ) 月に降りた人間は、やがて宇宙に新しい世界をつくりあげるだろう。きみたちがおとなになるころには、地球ではなくて、太陽系が、活躍の場所だと考えられるかもしれない。しかし、(キ) 今の文明に欠けているものが、そのままなら、人間はけっして幸福になれない。

今までにできなかったことを、きみたちはどうやって成功させるか。

きみたちの未来は、広い。今までだれも経験しなかったほど広い。しかし、きみたちの未来は、むずかしい。

広くて、そしてむずかしい未来に向かって、今きみたちは、新たな一步をふみ出そうとしているのだ。

- (1)文章中のA「夢」B「夢に見た」は、それぞれどんな意味ですか。記号で答えなさい。

(2×2=4点)

- ア どうしようかと心で迷うこと。
イ 空想にふけり、むちゅうになること。
ウ ぼんやりして、たのみにならないこと。
エ 将来やりたいと希望したり、あこがれたりすること。
A() B()

(2) 次の文について、主語と述語を記号で () に書き入れなさい。(1+1+2=4点)

④ ぼくは ① 何人かの ③ アフリカの ④ 少年たち ⑤ 少女たちに ⑦ 出会った。

主語 () → 述語 ()

上の文で、「何人かの」ということばは、どれにかかりますか。記号で答えなさい。
()

(3) 文章中の (ア) 「かつて」について、問いに答えなさい。(2×2=4点)

① 「かつて」は、どれにかかりますか。記号で答えなさい。

ア アフリカの探検記が イ かきたてたように ウ 東洋の エ 知った

② 「かつて」に対応することばを、文章中からぬき出しなさい。

(4) 文章中の (イ) 「日本のひとりの子どもの心をかきたてた」について、問いに答えなさい。
(2×2=4点)

① 「日本のひとりの子どもの心」とは、だれの心ですか。記号で答えなさい。

ア 現代の、ある子どもの心 イ 探検家ごっこをした子どもの心

ウ 筆者が子どものころの心 エ 今、アフリカの探検記を読む子どもの心

② 「心をかきたてた」とは、どんな意味ですか。記号で答えなさい。

ア 心をかきまぜた イ 心をわくわくした

ウ 心をかき乱した エ 心を明るくした

(5) この文章で、(ウ) 「異郷」、(エ) 「その国」とは、それぞれどこを指していますか。()
に記号を入れなさい。(2×2=4点)

アフリカ () 日本 () 北ノルウェー ()

ギリシア () 北ノルウェーとギリシア ()

アフリカと北ノルウェーとギリシア ()

(6) 筆者が (オ) 「まだ地球は、ほんとうに丸くはない」といっているのは、なぜですか。記号で答えなさい。(3点)

ア ほかの国と行き来するのに距離が遠く、時間がかかるから。

イ それぞれの国の成り立ちや歴史が異なっているから。

ウ 人々の心がなかなか一つにつながらないから。

エ ことば・風俗・習慣などの相違があるから。

(7) 文章中の (カ) 「月に降りたった人間」とは、何を象徴していますか。次の中から最も適当なものを選んで、記号で答えなさい。(3点)

ア 新たな一歩をふみ出そうとしている人間

イ 宇宙開発の仕事にたずさわった人間

ウ 国際的な世界で活躍する人間

エ 科学を進歩させた人間

(8) 筆者が (キ) 「今の文明に欠けているもの」と考えているのは何ですか。二十五文字以内にぬき書きしなさい。(4点)

五、次の古典を現代日本語に訳しなさい。(計10点)

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消

えかつ結びて、久しくとどまりたる例なし。世の中にある人と栖と、またかくの如し。たましきの都のうちに、棟を並べ薨を争へる、高きいやしき人の住まひは、世々を経て尽きせぬものなれど、これをまことかと尋ぬれば、昔ありし家は稀なり。或は去年焼けて今年作れり。或は大家亡びて小家となる。住む人もこれに同じ。所も変はず、人も多かれど、いにしへ見し人は、二三十人が中に、わづかにひとりふたりなり。朝に死に、夕に生まるるならひ、ただ水の泡にぞ似たりける。

(鴨長明『方丈記』による)

六、次の文章を中国語に訳しなさい。(計 25 点)

李白の「静夜思」について、谷崎潤一郎は、「さみしい」とも「恋しい」とも「うら悲しい」ともいわず、ただ「思ふ」の一語におさえていることをその大きな特徴としてあげている。このように形容詞を使わずに、しかも、その感情を表現しているところにも、また含蓄がある。文章における感情表現は、俳優の演技に似ていて、へたな俳優ほど、顔をゆがめたり、身をもがいたり、大声を立ててわめいたりする。じょうずな俳優は、おおげさな動作や表情をしない。演技をうちわに引き締める。その方が、見ている人の胸をうつ。文章もそれと同じで、言いすぎ、書きすぎは、できるだけつつしまなければならない。むだをはぶくことが大切で、書いた文章を推敲していくと、その文章は、たいてい短くなる。

この含蓄に価値をおいた文章論は、日本語の美しさに対応している。谷崎潤一郎は、自分の作った戯曲の題名、「愛すればこそ」には、主格がなく、ロシア語で翻訳するとき、その訳し方に困っているという事実をあげ、これは、主格をおかないところによさがあると強調している。主格は、わたしでも、彼女でもいい。限定しない方が、言葉に、広さと重みが出てくるというのがその理由である。

七、次の中国語を日本語に訳しなさい。(計 15 点)

- (1) 他交涉了 2 个小时，可是毫无结果。他十分沮丧地顶着烈日回去了。
- (2) 我好像在什么地方见过他，又好像没见过他，记忆很模糊，连自己都吃不准。
- (3) 收到这样的信让人无法不担心，但也不能马上就坐飞机去呀。
- (4) 一家周刊社向我约稿连载既不像小说又不像随笔的文章。我正好闲着，就高兴地接受下来。
- (5) 希腊艺术和罗马艺术都是在古代艺术的基础上建立起来的，在这一点上它们没有什么两样。

八、下記のテーマで作文 (800~1000 字) を書きなさい。(計 30 点)

「失敗から学んだこと」